

特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド(HFW)
2015年9月度理事会 議事録

■開催日時 2015年9月26日(土) 13:00~16:40

■開催場所 HFW事務所

■役員総数 10名(理事9名、監事1名)

■出席者数 7名

齊藤恵一郎理事長、星野直副理事長、関口和孝理事、西岡はるな理事、原田麻里子理事、渡邊奈美子理事、渡邊清孝理事・事務局長、矢崎芽生監事

■委任状提出 1名

犬嶋由香里理事

■議事

1. 開会(司会:渡邊理事・事務局長)

2. 出欠確認(上記の出欠状況が報告された)

3. 理事長挨拶

4. 議事録署名人の選出

齊藤理事長の任命で、渡邊理事、渡邊理事・事務局長が選出された。

5. 前回理事会議事録の確認

6. 議事

【討議事項】

◎1) 団体章

当初審議事項であったが、理事長の団体章のロゴのイメージを事務局長、並びに担当理事が把握していなかったため討議事項となった。ロゴの活用目的、配布対象、デザインについて、以下の内容で進めていくことが確認された。

- ・団体章の配布対象は、本部役員、支部事務局長。
- ・デザイン案は今回各役員から出された意見をもとに、原田理事が作成する。
- ・使用の範囲、管理体制は、運用しながら決めていく。
- ・交換バッジ仕様の団体章についての扱いは別途検討する。

【報告事項】

◎2) 財務

事務局長より、資料②の報告がなされ、以下の対応をすることになった。

- ・1100万円の赤字から100万円台の赤字に改善されたが、大口助成金の獲得がされなかった事の重大性を事務局が理解し、かつその教訓を踏まえ、次年度は確実に獲得できるよう、支部の事業立案能力の向上、並びに本部職員の工程管理を厳格に行い、申請に向けての準備を行うことが確認された。

◎3) 会員・ひとつぶ募金拡大現状

事務局長より、資料③の議案が報告された。事務局長より資金調達の重点分野として、ひとつぶ募金・遺贈が挙げられ、理事長より、会員拡大の視点は常に維持するよう指導がなされた。

◎4) 地域開発／アドボカシー／啓発活動／青少年育成／社会的責任

地域開発担当職員の米良より資料④-1、アドボカシー担当職員の米良より資料④-2、啓発活動担当職員の儘田より資料④-3、青少年育成担当職員の熊坂より資料④-4、社会的責任担当の渡邊事務局長より資料④-5の報告がされ、以下の対応がなされた。

(地域開発)

- ・ブルキナファソのクーデターにより、ベナンを訪問中のYEHブルキナファソメンバーの入国制限の件が述べられた。

・ Bangladesh 事務所への盗難については、浄財の損失、並びに支払い済みの給与を本部が補填しているという点を鑑み、現地事務所としての始末書、並びに一層の防犯対策（貴重品を置かない、音／光／映像を活用した防犯）を本部及び支部で毛工した上で実施し、対策を他国に共有することが可決された。

（アドボカシー）

・ウガンダ訪問で飢餓の実感がなく成果が順調との所感を持たれた星野副理事長から、活動国の見直し論も今後の理事会での議論で必要との意見がなされた。

（啓発活動）

・星野副理事長、原田理事より、影響力のあるステークホルダーが集まる場所で講演をする場合は、理事や他の職員を効果的に活用してほしいとの意見がなされた。加えて、費用対効果の高い活動を行うよう理事長より指導がなされた。

◎5) 規程策定／改定

渡邊事務局長より、資料⑤の報告がなされ、以下の対応をすることになった。

・新規の職務権限表の「5000円以下」を「税込み5000円未満」に修正

◎) その他

・広報担当原田理事より、webリニューアルの進行状況について報告がなされた。
・齊藤理事長より、規程改定の一環として、今後の正副理事長の長期フライトに関する座席のグレードアップのニーズが述べられ、次回の理事会で討議することが確認された。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議事録署名人が下記に署名する。

2015年12月27日

議長

星野 正一 

議事録署名人

渡邊 奈美子 

渡邊 清孝 